

都市再生整備計画 事後評価シート
枚方市駅周辺地区

令和3年3月

大阪府枚方市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	枚方市		地区名	枚方市駅周辺地区			面積	104ha		
交付期間	平成27年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	3200.2百万円	国費率	0.5				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(北側道路整備事業)、地域生活基盤施設(歩行者用デッキ整備事業、施設前広場整備事業)、高次都市施設 地域交流センター(総合文化施設)、誘導施設 社会福祉施設(枚方市立枚方保育所整備事業)										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-		-		-		-		
		提案事業	-		-		-		-		-		
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(歩行者用エスカレータ整備事業)		-		-		-		-		
		提案事業	地域創造支援事業 枚方市駅周辺再整備基本計画		-		-		-		-		
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	平成27年度～令和2年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	賑わい向上による地価上昇	千円/㎡	461	平成29年度	530	令和3年度	-	527(見込み値)	△	あり	評価値は、令和2年度までの地価公示価格から算出した見込み値で、従前値から目標値に近づく上昇が見られる。令和3年度に枚方市総合文化芸術センターが開館すれば、地区の魅力が向上し、令和4年度の地価公示価格では、目標値の達成が可能と考えられる。	令和4年度内
	指標2	来訪者数の増加による売り上げ増加	百万円/年	310	平成29年度	757	令和3年度	-	757(見込み値)	○	あり	総合文化芸術センターの来訪者数の予測値と、類似施設における飲食・買い物代金の平均値、及びチケット代金から評価値を算出した。令和3年度に総合文化芸術センターが開館すれば、目標値の達成が可能と考えられる。	令和4年度内
指標3	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加	百万円/年	24	平成29年度	83	令和3年度	-	86(見込み値)	○	あり	大学の新学部創設や枚方市駅がリニューアルされたことによる公共交通利用者の増加数と、総合文化芸術センターの来訪者数の予測値から公共交通利用者の増加数を予測し、評価値を算出した。令和3年度に総合文化芸術センターが開館すれば、目標値の達成が可能と考えられる。	令和4年度内	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	地区内における公立保育所の定員数	人	120	平成25年度	-	159	-	-	△	平成29年度に、枚方市立枚方保育所を建て替え供用開始したこと(120人→140人)、枚方市立おおがいと小規模保育施設を開設したことにより(0人→19人)、定員数を増加することができた。	-	
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 枚方保育所のリニューアルにより、防犯カメラ設置による防犯対策と、バリアフリー化やエレベーター設置による障害のある児童を含めた様々な児童への支援の充実を図ることができ、保育機能を向上することができた。 総合文化芸術センターの整備が進むにつれて、問合せ件数の増加と、市民説明会等に多数の市民が出席するなど関心が高まっている。 												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等		
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								-	
	住民参加プロセス	総合文化芸術センターの開館に向けて、市民へのe-アンケートの実施や、市内文化団体を対象とした意見聴取会を開催した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● 総合文化芸術センターを拠点に「(仮称)市民総合文化祭」等のイベントを開催し、文化団体や市民と共に賑わい創出を図る。	
持続的なまちづくり体制の構築	枚方市とUR都市機構は平成28年に締結した包括連携協定に基づき、地域の活性化に資するまちづくりを協働で推進している。市は、都市再生整備計画に滞在快適性等向上区域を設定し、UR都市機構は、まちなかウォーカー推進計画を策定し事業を実施している。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								● 本市においては、令和3年度から都市再生整備計画(2期)の事業を実施し、UR都市機構においては、引き続きまちなかウォーカー推進事業を実施する。今後もそれぞれの取り組みについて、連携しながら持続的なまちづくりを進める。		

様式2-2 地区の概要

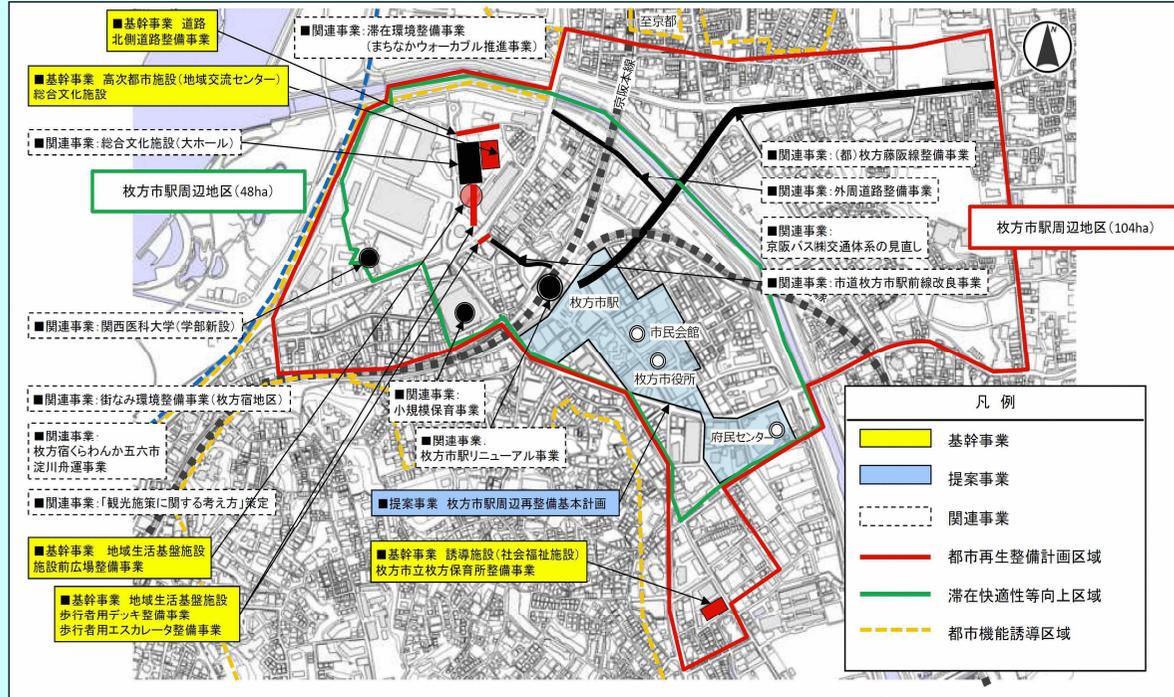
枚方市駅周辺地区(大阪府枚方市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域資源を活かした拠点機能の強化による市の「玄関口」におけるまちの賑わい向上 目標1: 集客力の向上による賑わい創出 目標2: 回遊性の向上による賑わい創出	賑わい向上による地価上昇	単位: 千円/㎡	461	H29	530	R3	527(見込み値)	R3
	来訪者数の増加による売り上げ増加	単位: 百万円/年	310	H29	757	R3	757(見込み値)	R3
	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加	単位: 百万円/年	24	H29	83	R3	86(見込み値)	R3
	地区内における公立保育所の定員数	人	120	H25	—	R3	159	R3

北側道路、総合文化施設、施設前広場、歩行者用デッキ



歩行者用エスカレータ



枚方市立枚方保育所



枚方宿くらわんか五六市



淀川舟運



まちの課題の変化

・枚方市立枚方保育所の建て替えが完了したことにより、保育施設における施設規模の拡大と新たな諸室が整備され、地域の子育て環境の向上に繋がった。
 ・歩行者用エスカレータについては整備が完了しているが、総合文化施設、施設前広場、北側道路、歩行者用デッキについては整備中である。総合文化施設、施設前広場が完成すれば、文化芸術活動の場となるホールや市民活動を支援する諸室のほか、地域の人たちが気軽に訪れることのできるロビーや施設前広場が整備され、集客力の向上による賑わいの創出が期待される。また、北側道路、歩行者用デッキ、歩行者用エスカレータ全ての施設整備が完了すれば、総合文化施設と枚方市駅間を有機的に繋ぐことができ、安全・安心な歩行者アクセスを確保するとともに、周辺の淀川河川公園などへの回遊性の向上に繋がる。
 ・施設の老朽化が見られ、多様化する市民ニーズに対応した機能が求められている公共施設が残されている。
 ・京阪枚方市駅へ向かう交通の集中や、駅前を通過する車両による駅前広場の混雑、周辺道路での慢性的な交通渋滞が発生しているといった課題が残されている。
 ・枚方市駅前広場や市役所周辺に人々が集中しており、行動範囲が限られてるといった課題が残されている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

○残された課題について、枚方市駅周辺地区(2期)都市再生整備計画を策定し令和3年度から事業を実施することで、地域資源や誘導施設を活かした拠点機能の強化と公民連携による交通環境改善により、市の「玄関口」における更なるまちの賑わい創出を図る。
 ・公共施設の統廃合や合築などによる施設機能の複合化を促進し、公共施設の利用増進を図る。
 ・通過交通を抑制するため、周辺道路の整備と併せて交通体系を見直し、公共交通の定時制の確保と交通渋滞の緩和を図る。
 ・駅に集中する人の行動範囲を広げるため、歩道の整備や無電柱化事業を実施し、ウォークアブルなまちづくりの取り組みを推進することで、安全・安心な歩行空間の創出及び回遊性の向上を図る。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり①				重点配分対象の該当	○							
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）												
交付対象	枚方市												
計画の目標	（大目標）地域資源を活かした拠点機能の強化による市の“玄関口”におけるまちの賑わい向上 （目標1）文化・芸術を身近に学び生かすとともに、賑わいと魅力あるまちづくり （目標2）子育てしやすいまちづくり												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,806	A	1,806	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況及び目標値		
		当初現況値 H27当初	中間目標値	最終目標値 R2末
1	枚方市駅周辺地区の賑わい向上による地価公示価格の上昇			
	枚方市駅周辺地区の地価公示価格	461千円/㎡		530千円/㎡
2	枚方市駅周辺地区への来訪者数の増加による売り上げの増加			
	枚方市駅周辺地区への来訪者による飲食、ショッピング等の売り上げ金額	310百万円/年		757百万円/年
3	香里団地センター地区の公共施設利用者数の増加による図書等貸出冊数の増加			
	香里団地センター地区の公共施設利用者への図書等貸出冊数	444,046冊/年		530,000冊/年
4	香里団地センター地区の人と自然との共生を図る住民満足度の向上			
	香里団地センター地区の住民満足度	59.7%		61.7%
5	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内の保育施設の定員数の増加			
	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内における公立保育所の定員数	290人/年		310人/年
6	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加			
	公共交通の地用促進による売り上げ金額	24百万円/年		83百万円/年

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施地整、実施時期

事後評価の実施体制

- ・枚方市庁内の横断的な組織により、事後評価を実施。
- ・学識経験のある有識者及び市民代表者から構成される枚方市都市再生整備計画評価委員会により、事後評価原案に対する意見聴取を実施。

事後評価の実施時期

令和3年3月（フォローアップの実施：令和4年12月）

公表の方法

市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・文化芸術活動の場となるホールや市民活動を支援する諸室のほか、地域の人たちが気軽に訪れることのできるロビーや施設前広場が整備され、集客力の向上による賑わいの創出が期待される。
- ・枚方市立香里ヶ丘図書館の建替えが完了し、施設のバリアフリー化や地域住民の学習及び情報活用が整備されたことにより、地域における教育文化施設の機能が向上した。
- ・香里ヶ丘中央公園の改修により、緑空間における地域住民の憩いやふれあいの場が形成された。
- ・枚方市立香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の施設空間を結ぶ橋梁の築造により、連動したイベントの実施など一体的な施設利用が可能となり、賑わい創出に繋がる交流の場としてふさわしい地域拠点が形成された。
- ・枚方市立枚方保育所の建替えが完了したことにより、保育施設における施設規模の拡大と新たな諸室が整備され、地域の子育て環境の向上に繋がった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・北側道路、歩行者用デッキ、歩行者用エスカレーターの整備により、総合文化施設と枚方市駅間を有機的に繋いだことから、安全・安心な歩行者アクセスが確保されたとともに、周辺の淀川河川公園などへの回遊性の向上に繋がった。

○特記事項（今後の方針等）

- 「枚方市駅周辺地区(2期)都市再生整備計画」を策定し、令和3年度から事業を実施することで、次の目標を達成し、残された課題の解決に繋げる。
- ・地域資源や誘導施設を活かした拠点機能の強化と公民連携による交通環境改善により、市の「玄関口」における更なるまちの賑わい創出を図る。
 - ・公共施設の統廃合や合築などによる施設機能の複合化を促進し、公共施設の利用増進を図る。
 - ・通過交通を抑制するため、周辺道路の整備と併せて交通体系を見直し、公共交通の定時制の確保と交通渋滞の緩和を図る。
 - ・駅に集中する人の行動範囲を広げるため、歩道の整備や無電柱化事業を実施し、ウォーカブルなまちづくりの取組を推進することで、安全・安心な歩行空間の創出及び回遊性の向上を図る。
- ・香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園みどりの広場を一体的に運営を行うことで、市民参加と交流を促す活動や、地域のイベントに参画・連携し賑わいの創出を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	枚方市駅周辺地区の賑わい向上による地価公示価格の上昇		
	最終目標値	530千円/㎡	枚方市駅周辺整備による期待感から、従前値(461千円/㎡)より地価が上昇傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値は下回った。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
	最終実績値	502千円/㎡	
2	枚方市駅周辺地区への来訪者数の増加による売り上げの増加		
	最終目標値	757百万円/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回った。 (枚方市総合文化芸術センターの開館は、令和3年8月30日であったが、本格稼働したのが令和3年10月1日からであったため、記載の最終実績値は実績値(377百万円/年)を2倍したものである。) (フォローアップにより最終実績値を確定)
	最終実績値	754百万円/年	
3	香里団地センター地区の公共施設利用者数の増加による図書等貸出冊数の増加		
	最終目標値	530,000冊/年	令和2年7月に香里ヶ丘図書館が開館したことにより目標値を達成することができた。(開館した令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による休館等の影響を受け目標値を達成することができなかったが、令和3年度はその影響も少なく目標値を達成することができた。) (フォローアップにより最終実績値を確定)
	最終実績値	654,036冊/年	
4	香里団地センター地区の人と自然との共生を図る住民満足度の向上		
	最終目標値	61.7%	香里ヶ丘図書館及び香里ヶ丘中央公園を整備し、令和2年度末には香里ヶ丘中央公園駐車場の改修工事が完了したことで、施設の利便性が向上したことにより、令和3年7月に行ったアンケート調査では70.5%と目標を達成することができた。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
	最終実績値	70.5%	
5	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内の保育施設の定員数の増加		
	最終目標値	310人/年	枚方市駅周辺地区において、平成29年度に、枚方市立枚方保育所を建て替えし供用開始したことと(120人→140人)、枚方市立おおがいと小規模保育施設を開設したことにより(0人→19人)、香里団地センター地区の枚方市立香里団地保育所の定員数(170人)と合わせて、目標値を達成することができた。
	最終実績値	329人/年	
6	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加		
	最終目標値	83百万円/年	公共交通機関の利用者数が新型コロナウイルス感染症の影響により目標値設定時より減少したが、枚方市総合文化芸術センターの来館者数は目標値設定時より増加したため、従前値より増加傾向にあるものの、わずかに目標値を下回った。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
	最終実績値	82百万円/年	

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	枚方市 地域拠点における魅力ある都市づくり②				重点配分対象の該当	○							
計画の期間	平成31年度～令和02年度 (2年間)												
交付対象	枚方市												
計画の目標	(大目標) 地域資源を活かした拠点機能の強化による市の“玄関口”におけるまちの賑わい向上 (目標1) 文化・芸術を身近に学び生かすとともに、賑わいと魅力あるまちづくり (目標2) 子育てしやすいまちづくり												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,791	A	1,791	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初		R2末
1	枚方市駅周辺地区の賑わい向上による地価公示価格の上昇			
	枚方市駅周辺地区の地価公示価格	461千円/㎡		530千円/㎡
2	枚方市駅周辺地区への来訪者数の増加による売り上げの増加			
	枚方市駅周辺地区への来訪者による飲食、ショッピング等の売り上げ金額	310百万円/年		757百万円/年
3	香里団地センター地区の公共施設利用者数の増加による図書等貸出冊数の増加			
	香里団地センター地区の公共施設利用者への図書等貸出冊数	444,046冊/年		530,000冊/年
4	香里団地センター地区の人と自然との共生を図る住民満足度の向上			
	香里団地センター地区の住民満足度	59.7%		61.7%
5	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内の保育施設の定員数の増加			
	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内における公立保育所の定員数	290人/年		310人/年
6	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加			
	公共交通の地用促進による売り上げ金額	24百万円/年		83百万円/年
7	公園使用回数			
	公園を活用した地域イベント等の実施回数	9回/年		21回/年

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施地整、実施時期

事後評価の実施体制

- ・枚方市庁内の横断的な組織により、事後評価を実施。
- ・学識経験のある有識者及び市民代表者から構成される枚方市都市再生整備計画評価委員会により、事後評価原案に対する意見聴取を実施。

事後評価の実施時期

令和3年3月（フォローアップの実施：令和4年12月）

公表の方法

市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・文化芸術活動の場となるホールや市民活動を支援する諸室のほか、地域の人たちが気軽に訪れることのできるロビーや施設前広場が整備され、集客力の向上による賑わいの創出が期待される。
- ・枚方市立香里ヶ丘図書館の建替えが完了し、施設のバリアフリー化や地域住民の学習及び情報活用が整備されたことにより、地域における教育文化施設の機能が向上した。
- ・香里ヶ丘中央公園の改修により、緑空間における地域住民の憩いやふれあいの場が形成された。
- ・枚方市立香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の施設空間を結ぶ橋梁の築造により、連動したイベントの実施など一体的な施設利用が可能となり、賑わい創出に繋がる交流の場としてふさわしい地域拠点が形成された。
- ・枚方市立枚方保育所の建替えが完了したことにより、保育施設における施設規模の拡大と新たな諸室が整備され、地域の子育て環境の向上に繋がった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・北側道路、歩行者用デッキ、歩行者用エスカレーターの整備により、総合文化施設と枚方市駅間を有機的に繋いだことから、安全・安心な歩行者アクセスが確保されたとともに、周辺の淀川河川公園などへの回遊性の向上に繋がった。

○特記事項（今後の方針等）

- 「枚方市駅周辺地区(2期)都市再生整備計画」を策定し、令和3年度から事業を実施することで、次の目標を達成し、残された課題の解決に繋げる。
- ・地域資源や誘導施設を活かした拠点機能の強化と公民連携による交通環境改善により、市の「玄関口」における更なるまちの賑わい創出を図る。
 - ・公共施設の統廃合や合築などによる施設機能の複合化を促進し、公共施設の利用増進を図る。
 - ・通過交通を抑制するため、周辺道路の整備と併せて交通体系を見直し、公共交通の定時制の確保と交通渋滞の緩和を図る。
 - ・駅に集中する人の行動範囲を広げるため、歩道の整備や無電柱化事業を実施し、ウォーカブルなまちづくりの取組を推進することで、安全・安心な歩行空間の創出及び回遊性の向上を図る。
- ・香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園みどりの広場を一体的に運営を行うことで、市民参加と交流を促す活動や、地域のイベントに参画・連携し賑わいの創出を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	枚方市駅周辺地区の賑わい向上による地価公示価格の上昇		
	最終目標値	530千円/㎡	枚方市駅周辺整備による期待感から、従前値(461千円/㎡)より地価が上昇傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値は下回った。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
最終実績値	502千円/㎡		
2	枚方市駅周辺地区への来訪者数の増加による売り上げの増加		
	最終目標値	757百万円/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回った。 (枚方市総合文化芸術センターの開館は、令和3年8月30日であったが、本格稼働したのが令和3年10月1日からであったため、記載の最終実績値は実績値(377百万円/年)を2倍したものである。) (フォローアップにより最終実績値を確定)
最終実績値	754百万円/年		
3	香里団地センター地区の公共施設利用者数の増加による図書等貸出冊数の増加		
	最終目標値	530,000冊/年	令和2年7月に香里ヶ丘図書館が開館したことにより目標値を達成することができた。(開館した令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による休館等の影響を受け目標値を達成することができなかったが、令和3年度はその影響も少なく目標値を達成することができた。) (フォローアップにより最終実績値を確定)
最終実績値	654,036冊/年		
4	香里団地センター地区の人と自然との共生を図る住民満足度の向上		
	最終目標値	61.7%	香里ヶ丘図書館及び香里ヶ丘中央公園を整備し、令和2年度末には香里ヶ丘中央公園駐車場の改修工事が完了したことで、施設の利便性が向上したことにより、令和3年7月に行ったアンケート調査では70.5%と目標を達成することができた。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
最終実績値	70.5%		
5	枚方市駅周辺地区、香里団地センター地区内の保育施設の定員数の増加		
	最終目標値	310人/年	枚方市駅周辺地区において、平成29年度に、枚方市立枚方保育所を建て替えし供用開始したことと(120人→140人)、枚方市立おおがいと小規模保育施設を開設したことにより(0人→19人)、香里団地センター地区の枚方市立香里団地保育所の定員数(170人)と合わせて、目標値を達成することができた。
最終実績値	329人/年		
6	公共交通利用者数の増加による売り上げ増加		
	最終目標値	83百万円/年	公共交通機関の利用者数が新型コロナウイルス感染症の影響により目標値設定時より減少したが、枚方市総合文化芸術センターの来館者数は目標値設定時より増加したため、従前値より増加傾向にあるものの、わずかに目標値を下回った。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
最終実績値	82百万円/年		
7	公園使用回数		
	最終目標値	21回/年	令和元年度には香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園みどりの広場の工事が完了し、令和2年度から指定管理者による運営が始まり、一体的な利用によるイベント開催ができるようになったことにより、令和3年度末には目標達成することができた。 (フォローアップにより最終実績値を確定)
最終実績値	27回/年		